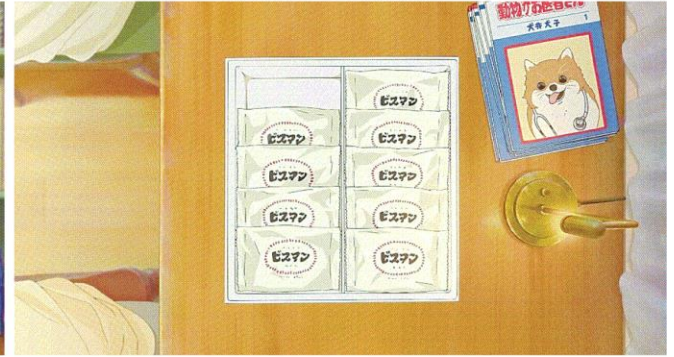
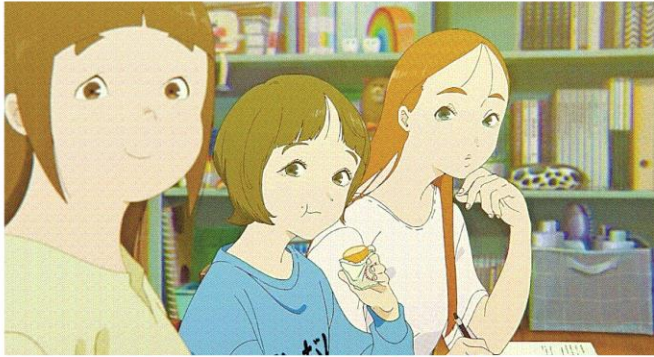




㊦アニメ映画「きみの色」で、箱入りのビスマンが登場するシーン
㊧劇中でビスマンを食べるシーン。手前が主人公のルームメートさく（©2024「きみの色」製作委員会）



「きみの色」の聖地巡礼で中津観光に貢献できれば」と話す殿畑双葉堂の殿畑敦士常務（右）と妻美穂さん＝中津市植野の殿畑双葉堂

ビスマン映画に出演

上映中のアニメ「きみの色」

【中津】上映中のアニメ映画「きみの色」の劇中に中津市の銘菓「ビスマン」が登場している。製造・販売元の殿畑双葉堂（市内植野）は、商品のPR効果やファンが作品ゆかりの地を巡る「聖地巡礼」による中津の観光客増に期待。タイアップ商品の販売も始めた。

ビスマンの商品名は、ビスケットとまんじゅうを組み合わせた造語。同社3代目の忠さん（故人）が、ビスケット生地に黄身あんを入れて焼き上げ、1955年に発売した。市内外の土産店などで売られ、本社店頭では製造した日に焼きたてを提供している。

映画の舞台のモデルは長崎県。主人公トツ子が通う全寮制高校のルームメートさくが化粧箱入りのビスマンを出し、仲間と食べるシーンがある。包装パッケージのロゴも忠実に再現されている。ビスマンを選んだ理由について、製作会社は「九州の中

九州銘菓で白羽の矢 中津の製造元「うれしい」

でも銘菓として知られていると製作チームから候補に挙がり、登場することになった」と説明する。

映画公開に合わせて、殿畑双葉堂は「きみの色」のイラスト入り帯が付いた箱入り商品を発売した。関東で映画館を展開するビューマックスシネマの運営館でも販売が決まっている。

殿畑敦士常務（41）は「ビスケットが高級品だった時代に子どもに食べさせたいと3代目が開発し、来年で70周年を迎える商品。包装のデザインも変えずにこだわってきたものが、今の時代に評価されてうれしい」と話した。ビスマンの問い合わせは同社（0979・326151）。（田崎啓二）

「きみの色」 山田尚子監 監督作品。人が色で見えるトツ子、美しい色を放つきみ、音楽好きのルイ。それぞれ悩みを抱える男女3人が、バンド活動を通じて心を通わせていく物語。ビスマンを持ち出したさくの声は、芸人のやす子が担当する。県内の映画館でも上映中。



〔問①〕 アニメ映画「きみの色」に登場した「ビスマン」。何市の銘菓？

中津市

〔問②〕 「ビスマン」の名前は造語ですが、何と何を組み合わせた？

ビスケットとまんじゅう

〔問③〕 ビスマンを選んだ理由について、製作会社の説明は？

九州の中でも銘菓として知られていると製作チームから候補に挙がったから

〔問④〕 あなたがアニメ映画に登場してほしいと思う銘菓は何ですか？ 理由は？

自由記述